



長住早紀さん（舟場）

清流の中で自然の滑り台で遊んだことが楽しかったです。みんな進んで活動していました。ヤル気があれば何でもできるはずです。



音田光一さん（高尾）

かま作りが大変だったけどみんな協力しました。花火大会が楽しかったです。2日でたくさん体験し、自分に自信が持てました。



吉田結有帆さん（根雨）

自分で炊いたご飯はとてもおいしかったです。夜の空は星がいっぱいきれいでした。日野町にはすばらしい自然がたくさんです。

自発的に行動 経験を生かす
野外活動で子どもたちは、自分たちでできることは自発的に進んで挑戦していました。薪集めにしても、大きな木は自分で判断し、ノコギリで切ったり、一人では重くて持てないときは、声をかけ合い協力して運んでいました。上級生の子どもは、下級生のめんどろを良く見て「何でも経験。やってごらん」と、きちんと教えていました。以前のキャンプで失敗したご飯も経験を生かし、今回はおいしいご飯が炊き上がりました。昼のカレーライスの味を聞いたところ「お米がふつぷらして光っている。自分で

炊いたご飯はおいしいです」とおかわりをしていました。何でも挑戦 主役は自分たち
2日間のボラキャンプを終えた子どもたちは「何でも挑戦すればできると思った」「奉仕活動の大切さを実感した」「大人から多くのことを教わった」など感想を話していました。
何が楽しかったのか聞いたところ「川遊び」「テントでの会話」「花火」と話し、全員が「夏休みのいい思い出になりました」と2日間を振り返っていました。

2日間のキャンプを裏で支えた町青年団のみなさんお疲れさまでした。
三好達也さん（右上）＝子どもたちは2日間とてもたくましく感じました。
入澤真人さん（右下）＝夏休みのいい思い出になってくれればうれしいです。
川上茂芳さん（左上）＝子どもたちは元気笑顔がとても印象的でした。
吉原尚志さん（左下）＝たくさん経験を積んで、たくましく育ってほしいです。



早朝から元気な町青年団

自然の中で
ボランティアキャンプ 略して